

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年5月27日現在

機関番号：32202

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22390137

研究課題名（和文）川崎病の長期予後の解明を目的とした大規模コホート研究

研究課題名（英文）Mortality among Persons with a History of Kawasaki Disease in Japan

研究代表者

中村 好一（NAKAMURA YOSIKAZU）

自治医科大学・医学部・教授

研究者番号：50217915

研究成果の概要（和文）：心後遺症を持たない者も含めた川崎病既往者の追跡を行い、生命予後を明らかにする目的で、第8回～第12回川崎病全国調査（1982年7月～1992年12月）で52病院から報告された患者のうち、特定の要件を満たす6,576人について、戸籍を用いて2009年末日までの生存状況を確認し、死亡が判明した場合には死亡診断書に基づく死亡の解析を行った。全体でのSMRは1.00であったが、心後遺症を持つ者の急性期以降のSMRは1.86と有意に高かった。

研究成果の概要（英文）：To clarify the life prognosis of those with a history of Kawasaki disease, 6576 patients, who were reported to the 8<sup>th</sup>-12<sup>th</sup> nationwide survey from 52 collaborating hospitals. Using Koseki system, the participants had been followed till the end of 2009. The SMR was 1.00 for whole cohort members, but SRM for those with cardiac sequelae was 1.86.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	7,900,000	2,370,000	10,270,000
2011年度	3,700,000	1,110,000	4,810,000
2012年度	3,000,000	900,000	3,900,000
年度			
年度			
総計	14,600,000	4,380,000	18,980,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：社会医学 公衆衛生学・健康科学

キーワード：川崎病 長期予後 追跡研究 死亡率 疫学

1. 研究開始当初の背景

川崎病の既往がその後の心血管疾患の危険因子であるかどうかについて、疫学的には明らかではない。そのために、心後遺症を持たない者も含めた川崎病既往者の追跡を行い、生命予後を明らかにする目的で、研究を実施した。

2. 研究の目的

川崎病既往者の生命予後を明らかにし、川崎病の既往が心血管疾患の危険因子であるかどうかを確認する。

3. 研究の方法

第8回～第12回川崎病全国調査（1982年7月～1992年12月）で52病院から報告された患者のうち、（1）確実例（容疑例は除く）、（2）初発例（再発例は除く）、（3）14病日までの初診（15病日以降は除く）、（4）日本国籍（外国製は除く）の4条件を満たすすべての患者（6,576人）について、戸籍を用いて2009年末日までの生存状況を確認し、死亡が判明した場合には死亡診断書に基づく死因の解析を行った。死亡率の解析は性・年齢・暦年別に人口動態統計を用いて観察集団の期待死亡数を計算し、観察死亡

数との比 (O/E 比=SMR) とその 95%信頼区間を用いた。

#### 4. 研究成果

総観察人年は 148,295 人年で平均観察期間は 22.6 年であった。2009 年末日の状況は生存が 6,500 人 (98.8%)、死亡が 46 人 (0.7%、男 35 人、女 11 人)、不明 (追跡脱落) が 30 人 (0.5%) であった。観察終了日の年齢は最年長が 37 歳、全体の 84.2%が 20 歳代であった。死因は川崎病が 11 人、死亡診断書に川崎病の記載がない心疾患が 2 人、循環器系の先天異常が 4 人、悪性新生物が 7 人、その他の内因死が 5 人、外因死 17 人のうち不慮の事故と自殺が 7 人ずつ、他殺が 2 人、不慮の事故か自殺か判別がつかない者が 1 人であった。全体での SMR は  $46/45.6=1.00$  (95% CI 0.73~1.34) であったが、心後遺症を持つ者の急性期以降の SMR は  $14/7.5=1.86$  (95% CI : 1.02~3.13) で、男に限定すると  $13/5.7=2.27$  (95% CI : 1.21~3.87) といずれも有意に高かった。心後遺症を持つ者に対する医学的な管理の徹底が望まれる。悪性新生物の SMR は  $7/5.0=1.41$  (95% CI : 0.56~2.89) で、統計学的に有意ではなかった。外因死の

SMR は  $17/25.1=0.68$  (95% CI : 0.39~1.08)、自殺の SMR は  $7/9.5=0.73$  (95% CI : 0.30~1.52) で、いずれも死亡数は多いものの死亡率の上昇は観察されなかった。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 0 件)

[学会発表] (計 2 件)

中村好一, 阿相栄子, 屋代真弓, 坪井聡, 古城隆雄, 青山泰子, 小谷和彦, 上原里程, 柳川洋. 川崎病患者の長期追跡研究 : 第 8 回追跡結果. 第 23 回日本疫学会学術総会 (吹田, 2013.1.26). *Journal of Epidemiology* 2013 ; 23(supplement 1) : 81.

中村好一, 阿相栄子, 屋代真弓, 坪井聡, 古城隆雄, 青山泰子, 小谷和彦, 上原里程, 柳川洋. 川崎病患者の長期追跡 : 第 8 回追跡結果. 第 32 回日本川崎病学会・学術集

会（東京，2012.10.12）. 第32回日本川崎  
病学会・学術集会抄録集 2012：53.

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中村 好一 (NAKAMURA YOSIKAZU)

自治医科大学・医学部・教授

研究者番号：50217915

(2) 研究分担者

( )

研究者番号：

(3) 連携研究者

( )

研究者番号：